

## 日米の大学生による「ほんね」と「たてまえ」の使い方

キアラ・マクローリン

カリフォルニア州立大学モントレイベイ校

### 要旨

嘘をつくということと本当の事を人に言わないということには、どのような違いがあるのか。「ほんね」は思ったことをそのまま言うことだが、その反面「たてまえ」はある状況により、思ったことをそのまま言わない。そのため「たてまえ」は「嘘」とみなされることもある。日本では「ほんね」と「たてまえ」は時と状況によりよく使い分けられる。しかし、このような使い分けはアメリカでもある。しかし、興味深いことに日本でいう「ほんね」と「たてまえ」の訳は英語にはない。この研究では日本人とアメリカ人の「ほんね」と「たてまえ」に関する視点はどのように違うのか。そして「ほんね」と「たてまえ」は、日本人とアメリカ人の大学生の生活にどのような影響を及ぼしているのかという点に焦点を当て、アンケート調査を行った。アメリカ人30名、日本人30名の大学生がアンケートに答えた。その結果、日本人とアメリカ人の「ほんね」と「たてまえ」の使い方とそれを使う状況が似ていることがわかった。しかし、「ほんね」と「たてまえ」に親しんでいる日本人の方が、「ほんね」をいつどのような状況において使うのかを見極めるのが難しいと思っていることがわかった。

### はじめに

世界には色々な文化がある。一人ひとりの考え方は違うので文化にたいしてはどのういうふうに違うのかと疑問に思った。この研究では文化の中の日本人とアメリカ人の考え方による「ほんね」と「たてまえ」の使い方を探るつもりだ。「ほんね」と「たてまえ」に加えて、それらに関する色々な物事も探る。そして結果では、日本人の若い世代が、アメリカ人のようにだんだん「ほんね」でものごとを考えるようになってきたと言えるかもしれない。

### 「たてまえ」と「ほんね」の定義

「たてまえ」は社会で受け入れられる行動や意見 (Trinidad, 2014)

「ほんね」は信頼出来る人に伝える本当の意見と気持ち (Trinidad, 2014)

## 1. 研究の重要性

私がこの研究のテーマに興味を持った理由は留学している時、日本で「たてまえ」や「ほんね」に出会う機会がたくさんあり、滋賀県立大学に留学する前にも「ほんね」と「たてまえ」について興味がある。また自分の経験に基づき日本とアメリカかでの「たてまえ」と「ほんね」の使い方の違いについてもっと深く知りたいと思ったからだ。

## 3. 研究質問

1. 日本人とアメリカ人の「たてまえ」と「ほんね」の視点はどのように違うのか？
2. どのように「たてまえ」と「ほんね」は日本人とアメリカ人の生活に影響を及ぼすのか？

## 研究の背景

### 3.1. ハイコンテキスト・ローコミュニケーションとローコンテキスト・ハイコミュニケーション

まず、ドナヒューによると日本での、コミュニケーションはハイコンテキスト・ローコミュニケーションだと言われて、これは日本ではよく「たてまえ」や「ほんね」といわれ、よく使われる (1998)。「たてまえ」とは、親しくない人達、つまり外のグループの人に表向きの考えを伝えることで、よく誤解が生じる (Fujimoto, 2011)。

「ほんね」は自分の仲間、か、信頼できる人に真実を伝えることだ。ローコンテキスト・ハイコミュニケーションはアメリカでの、コミュニケーションを説明するために使われる。しかし、日本は「たてまえ」を大事にするため、アメリカでは、嘘についていると思われることもしばしばある。

### 3.2. 「ほんね」

日本では「ほんね」は親しい信頼できる人 (Trinidad 2014)にだけ本当の気持ちと意見を伝えることを言う (Doi, 1987)。アメリカでは通常親しい人にも親しくない人にも自分の気持ちを正直に伝える (Schumpter, 2013)。

### 3.3. 「たてまえ」

日本では「たてまえ」はグループの内と外の間を維持するためのものである。そして対立した時や困った事態を回避するために使われることもある。また、社会で調和を保つ時や、ささやかに自己を表示する時にも便利である(Doi, 1987)。アメリカでは「たてまえ」はグループの外と関係性を維持する時に使われる。日本と同じように対立した時や困った事態を回避するものですが嘘をつくこととなります(Schumpter, 2013)から信頼性の喪失を引き起こす可能性がある(Trinidad 2014)。

### 3.4. 日本：内と外

英語で内と外は「私達対彼ら」である(Caudill, 1970)。つまり、グループの中か、外に属するかで、いつ「ほんね」と「たてまえ」を使うかが、決まる。日本人はグループで決断をする時に、グループの気持ちも考慮するし、グループでよく行動する(Miyake, 1993)。あまりよく知らない人、つまりグループには属さない人には、本当の意見や気持ちを言いませんが、信頼できる人や身内には本当の気持ちを伝える。これは調和を保つためである(Takiguchi & Yoshikawa, 2014)。

### 3.5. アメリカのグループ：「ほんね」と「たてまえ」に関してアメリカのグループ行動

アメリカのグループは、主義主張が同じ傾向があり、違う意見や考え方の人に友好的ではない。批判をすることはグループに悪い影響を与える。したがってアメリカのグループは、グループの中では、「ほんね」を使い、外では「たてまえ」というように使い分ける(Adler & Adler, 1995)。

### 3.6. 友達を作る方法：アメリカと日本

友達関係は日本とアメリカではことなる。友達とは、気持ちが通い合う人ということで、アメリカ人は友達を作るために親しくする。アメリカ人はやさしくされるとそ

れが親しさだと勘違いする。つまり、アメリカ人は、「たてまえ」をやさしさと勘違いしやすいである。日本人の場合は友達になるために親切にする (Goss, 2000)。

ここでは、色々な友人関係を表している。ここにあるように様々である。

日本語	意味
(友)	友達
(友情)	友達の中の親愛の情
(友好)	仲のよい交際
(親しい友達)	親密である
(親しい関係)	親密な関係である
(知人)	知り合い
(親しみ)	親しく思う気持ち
(親しみ易さ)	友好的

(Goss, 2000)

### 3.7. 「ほんね」と「たてまえ」

「ほんね」と「たてまえ」、はまた直接的な答え、と間接的な答えとも言える。例えば間接的な答えをするのは人に恥ずかしい思いをさせないためや傷つけないために考慮する考え方である (Goss, 2000)。

### 3.8. 「たてまえ」の種類：お世辞

「たてまえ」には色々な表現がある。お世辞は機嫌をとるために相手を必要以上にほめることだ。媚びるは相手の機嫌をとるということだ。諂うということは気に入られるようにふるまうことだ。褒めるは1人のしたことをすぐれていると評価することだ。手前味噌は自慢することという意味だ。最後に、賛辞は褒めたたえる言葉である (Barlund, 1985)。

お世辞や褒めることとういの意味は話している人の顔を満たす (Ohno 2005)。

- › うわべだけのお世辞だ
- › 胡麻スリ
- › ほめ殺される
- › 尊大に構える
- › 能ある鷹は爪を隠す

(Barlund, 1985)

### 3.9. 「たてまえ」の種類：相槌

会話には相槌も大事な「たてまえ」を保つために欠かない。なるほどは話を聞いているか話の流れを聞き流す会話の時に言うことだ。またそうですか会話の時に「ほんね」を伝えずに興味があることを表示する (Morita, 2005)。

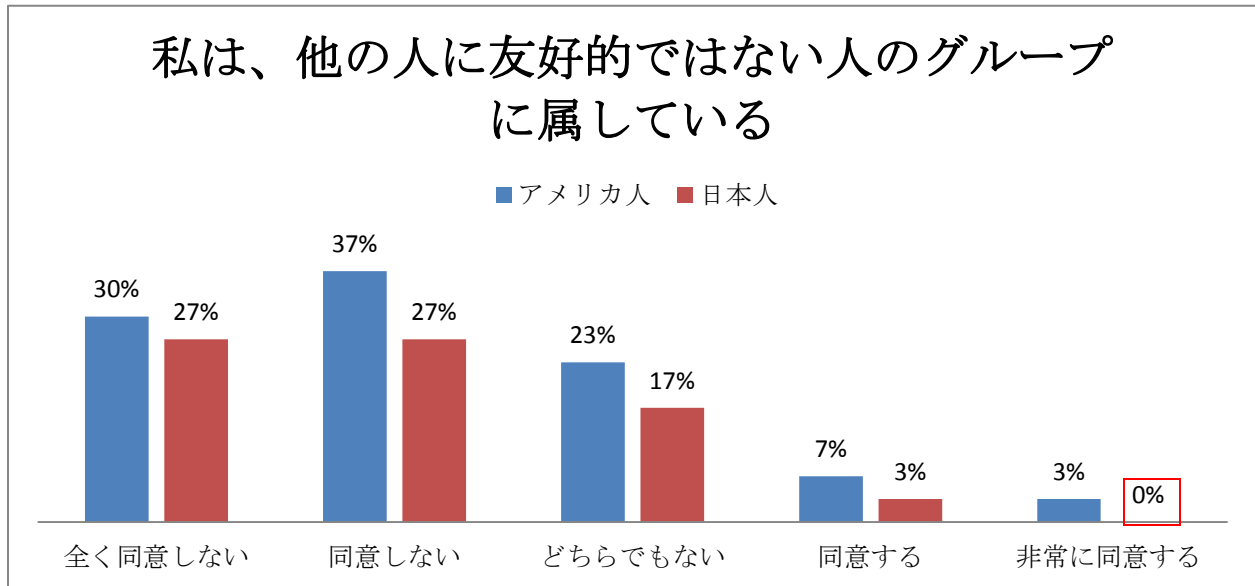
## 4. 研究

### 4.1. 研究方法

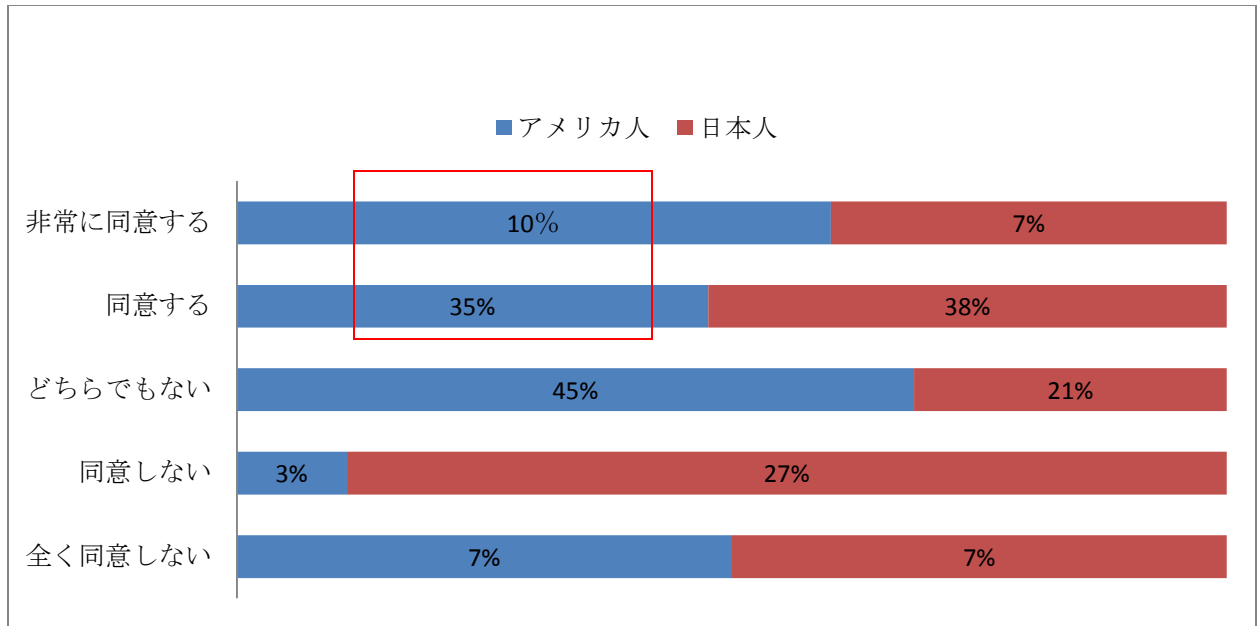
この研究には日本人大学生30人アメリカ学生30人の合計60人が参加した。両方とも女性15人、男性15人だ。オンラインでアンケート調査をした。

## 5. 結果

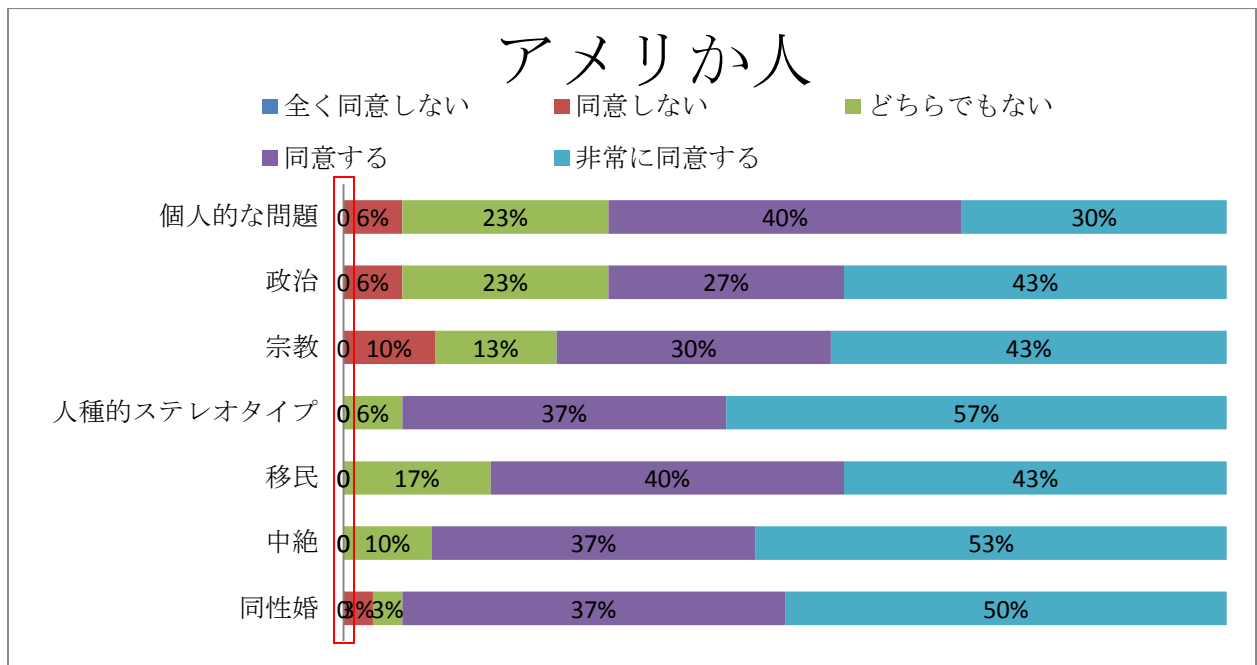
5.1. 研究質問1：日本人とアメリカ人の「ほんね」と「たてまえ」に関する視点はどう違うか。



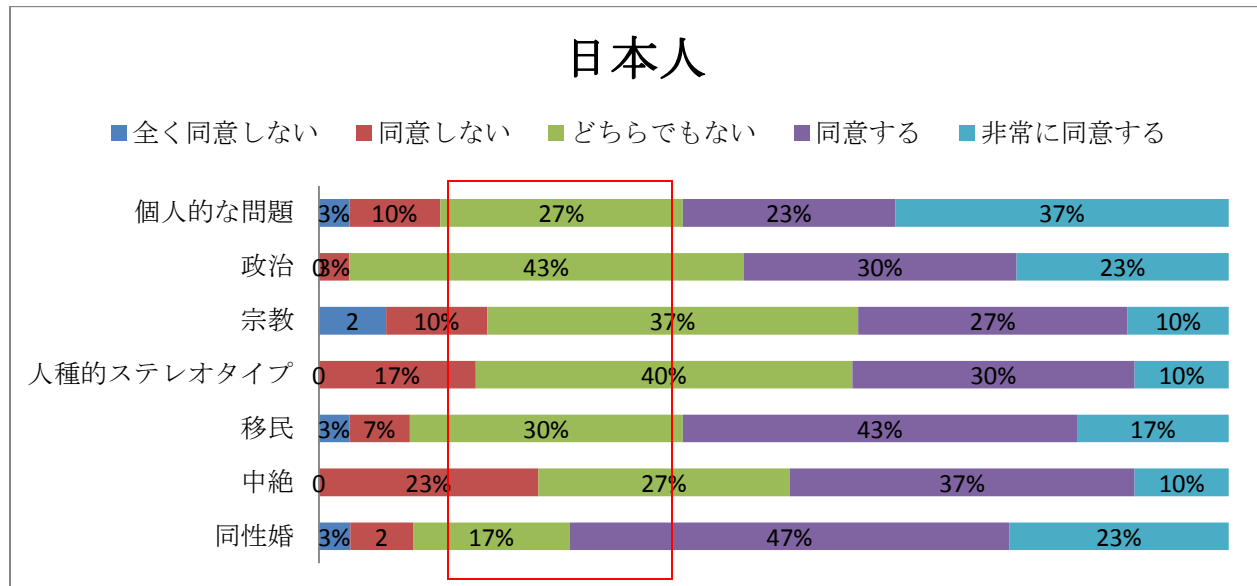
「他の人に友好的ではない人のグループに属している」という文にたいしては、面白い結果が出た。日本人は集団志向と言われているので他の人に友好的ではない人のグループに属していることに、非常に同意すると答えた日本人は0パーセントだった。この結果は私の仮説とはことなり驚いた。日本人は「ほんね」で答えたのかどうかが疑問だ。



「何かを決断する前にまずグループに対する影響を考える」という問いには「非常に同意する」と「同意する」と答えたパーセンテージは日本人もアメリカ人も約50%だった。この結果にも私は驚いた。日本人はグループを大事にするので、この答えにも日本人は「ほんね」で答えたかどうかは疑問だ。



アメリカ人はこのような難しいトピックに関して「ほんね」で話す傾向があるようだ。



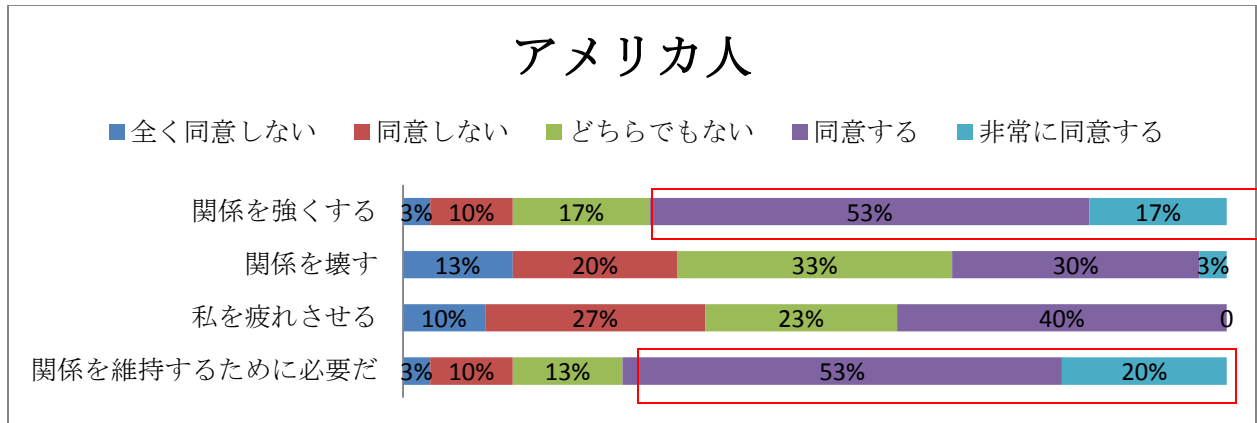
日本人はアメリカ人よりはるかに少なくおよそ半分ぐらい日本人が「ほんね」で話すことが分かった。

## 5.2. 研究質問1のまとめ

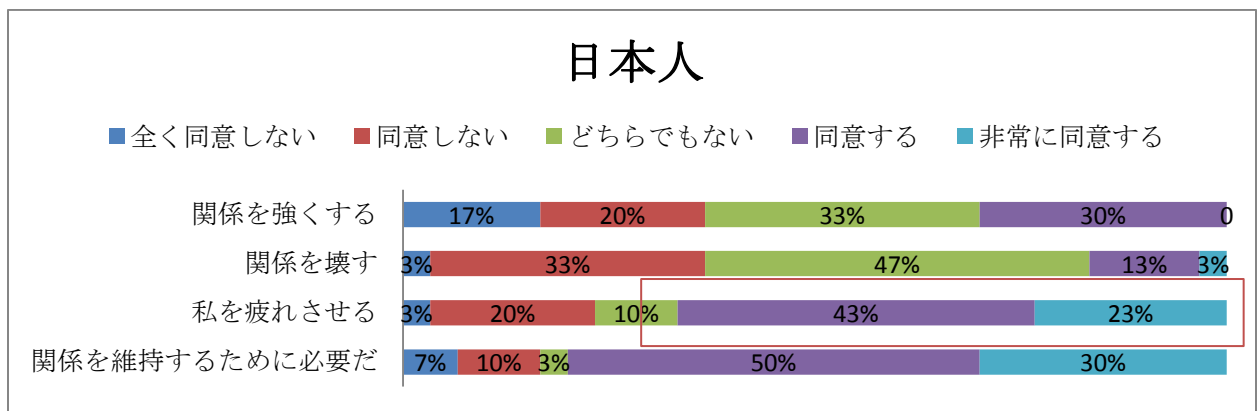
友好的ではない人のグループに属していることに関してと何かを決断する前にまずグループに対する影響を考えることに関しての日本人の回答は、日本人がグループ志向だという仮説とはこなっており、なぜ日本人がこのように答えたのかが疑問だ。アメリカ人は日本人より難しいトピックに関して「ほんね」で話す傾向がある。

5.3. 研究質問2：「ほんね」と「たてまえ」は日本人とアメリカ人の大学生の生活にどのような影響を及ぼしているのか。



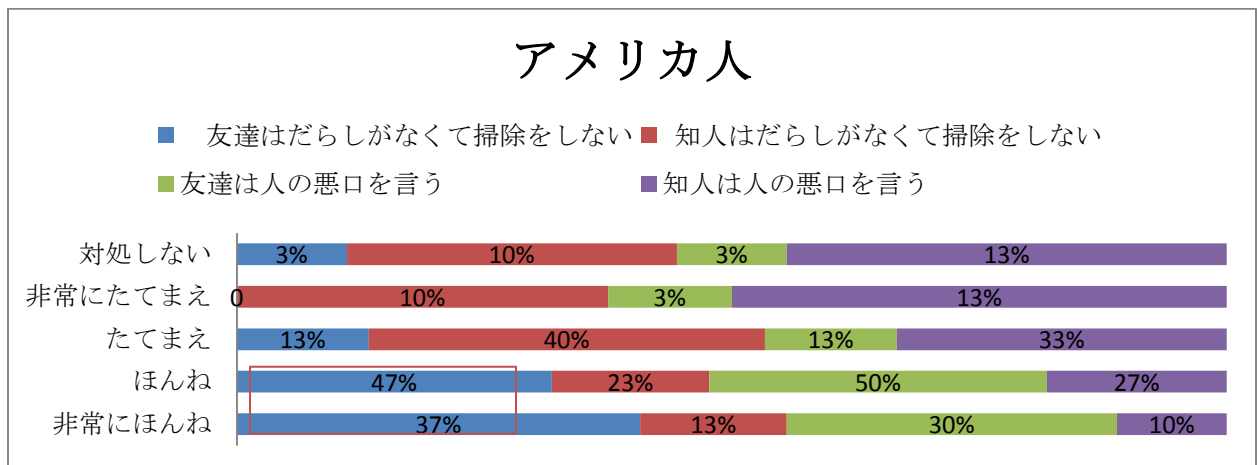


友達関係においては、アメリカ人も「ほんね」と「たてまえ」は人間関係を保つためには必要であり、うまく使いこなしているようだ。

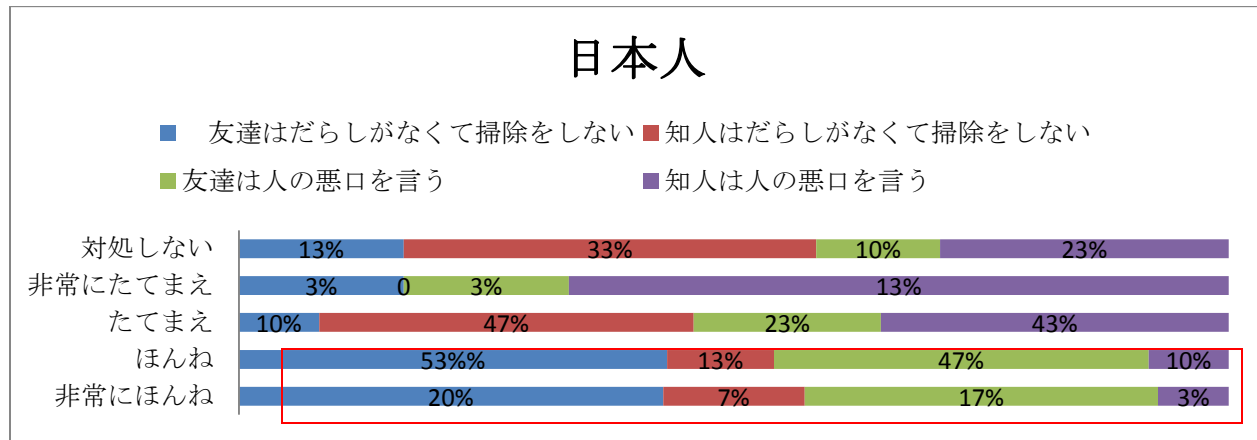


日本人の場合も「ほんね」と「たてまえ」は人間関係の維持のために必要だと思っていますがその使い分けが大変なようだ。

私は参加者に短いストーリーを読んでもらい、どう感じるかを聞いた。



だらしがなくて掃除をしない友達にはアメリカ人の場合は悪口を言う親しい友達には「ほんね」で対処をするようだ。



そして、日本人の場合も悪口を言う親しい友達には「ほんね」で対処するようだ。

### 5.3. 研究質問2のまとめ

アメリカ人も日本人も友達関係をうまく維持するためには「ほんね」と「たてまえ」を使い分けることは大切なようだ。ただ、日本人の方がその使い方により気を使うようだ。だらしがなくて掃除をしない友達にはアメリカ人も日本人も同じようにほんねで対処をするようだ。

### 5.4. 研究結果の要約

「ほんね」と「たてまえ」はアメリカにおいても、日本においても、人間関係をうまく維持するためにはとても大事な潤滑油である。このアンケート調査では、アメリカ人も日本人も人の気持ちを大事にするというのは同じなのであろうということが分かった。とても親しい友人関係になると、日本でもアメリカでも「ほんね」で話せるよう。

## 6. 結論

日本人の学生はアメリカ人の学生に比べて、「ほんね」と「たてまえ」の使い方を自覚している。これはアメリカ文化にはそのような言葉や厳しい習慣がないからであ

る。「ほんね」と「たてまえ」を使用する主な要因は社会や多様な人間関係の中で調和を維持するためだと言えると思う。

## 7. 考察

日本人の学生の回答がアメリカ人とは違う結果を想定していたが、私の仮説とは異なりアメリカ人と日本人ではあまり違いが出ませんでした。

### 将来の研究課題

日本人とアメリカ人ではやはり「ほんね」と「たてまえ」の違いはあると思う。ですから、その違いの根源を理解するために将来の研究課題として次回は 名前も顔もわからない状況でインタビューしてみたいと思う。

### 研究における限界点

この調査に参加してくれた人は私の知っている学生だったのでこの結果は一般化はできない。

## 参考文献

- Adler, P.A & P (1995). *Dynamics of Inclusion and Exclusion in Preadolescent Cliques*  
Social Psychology Quarterly, Vol. 58, No. 3 pp. 145-162
- Barnlund, D. , & Araki, S. (1985). Intercultural encounters: The management of compliments by  
japanese and americans. *Journal of Cross-Cultural Psychology*, Vol 16 Issue 1, 9-26.
- Caudill. W (1970) . “*The Study of Japanese Personality and Behavior*”. Rice University Studies
- Doi, T., Reynolds, D.K (1987). *The Anatomy of Self: The Individual Versus Society*  
*Journal of Japanese Studies*, Vol. 13, No. 2, Special Issue: A Forum on the Trade  
Crisis from pp. 496-498
- Donahue, R.T (1998). *Japanese Culture and Communication: Critical Cultural Analysis*.  
Maryland: University Press of America Inc.
- Fujimoto, H. (2011). 文化の類型とコミュニケーションギャップ The Cultural Types and  
Communication Gaps 人文論叢：三重大学人文学部文化学科研究紀要. 28, 145-155.
- Goss, B. (2000). Intercultural Communication Studies Vol. 10: *Friendliness Does Not Make  
Friends in Japan*.

Morita, E (2005). *Negotiation of Contingent Talk: The Japanese Interactional Particles Ne and Sa* Philadelphia, PA. John Benjamins Publishing

三宅和子 (東洋大学短期大学) (1993). 日本人の言語行動とウチ・ソト・ヨソの概念日本語教育方法研究会誌 Vol 1 No . 1, 6-7

Ohno, N. (2003). 「ほめ」の意図と目上への応答について. *The Japanese Journal of Language in Society*, Vol . 7No . 2, 88. 96

Shumpter (2013, Nov 3). *The Honne and the Tatemaie*.

Retrieved from <http://www.economist.com/news/business/21589412-big-business-japanpublicly-supports-abenomics-while-being-privately-wary-honne-and>

Takiguchi, M & Yoshikawa, H. (2014). 小学生における仲間集団 (ギャンググループ) 形成の特徴とその役割 埼玉大学教育学部教育実践総合センター紀要 = Journal of Integrated Center for Clinical and Educational Practice (13), 85-89

Trinidad, G.J.D (2014) Honne and Tatemaie: Exploring the Two Sides of Japanese Society  
Retrieved from [http://skemman.is/stream/get/1946/17171/40110/1/ThesisH\\$0026T.pdf](http://skemman.is/stream/get/1946/17171/40110/1/ThesisH$0026T.pdf)